



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 東京製綱株式会社

コード番号 5981 URL <http://www.tokvorope.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長

(氏名) 佐藤 和規

TEL 03-6366-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	53,532	6.5	2,578	8.5	3,323	16.9	3,495	1.7
26年3月期第3四半期	50,248	7.6	2,375	—	2,844	—	3,437	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 4,784百万円 (66.9%) 26年3月期第3四半期 2,867百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	23.70	21.67
26年3月期第3四半期	23.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	90,029	20,571	20.6
26年3月期	86,938	13,261	12.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 18,517百万円 26年3月期 11,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点での平成27年3月期の1株当たり配当金については未定であります。

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「A種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	5.8	3,700	9.2	3,600	1.6	3,700	△22.0	24.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 当四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 四半期連結財務諸表の作成に係る会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示になります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	162,682,420 株	26年3月期	162,682,420 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	17,525,223 株	26年3月期	17,501,818 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	145,174,018 株	26年3月期3Q	145,200,191 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) A種種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)				32,917.80	32,917.80

(注) 平成27年3月期期末配当金は、当社定款に従い、A種種類株式2,500株に対して82百万円の優先配当を行う予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策・日銀の金融緩和政策の継続を背景に緩やかな回復基調で推移しているものの、消費税率引き上げ後の消費の落ち込みが想定以上に長引いており、また新興国景気の減速もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、開発製品関連において、海外プロジェクト案件向けの売上を計上したこと等により、53,532百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

利益面では、主にスチールコード事業の収益改善により、営業利益は2,578百万円（前年同期比8.5%増）、経常利益は3,323百万円（前年同期比16.9%増）、四半期純利益は3,495百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（鋼索鋼線関連）

ワイヤロープにおいては、国内外のエレベータ向けを中心に需要が堅調に推移し、ほぼ前年並みで推移しておりますが、ワイヤ製品においては、主にプロジェクト案件と通信向けの需要が減少しております。

その結果、当事業の売上高は20,557百万円となりました。

（スチールコード関連）

産業機械分野（タイヤ成型機）の売上は減少したものの、主要製品であるタイヤコードの販売数量は国内・中国の両拠点において増加しております。

その結果、当事業の売上高は11,261百万円となりました。

（開発製品関連）

国内の道路安全施設の売上は、前年同期に比し伸び悩んでおりますが、橋梁関連において、海外プロジェクト案件向けの売上を計上いたしました。

その結果、当事業の売上高は13,918百万円となりました。

（不動産関連）

売上高は前年同期とほぼ横這いの864百万円となりました。

（その他）

石油製品、粉末冶金製品、産業機械（自動計量機・包装機）の各分野で、販売が堅調に推移し、売上高は6,929百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現預金やその他投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ3,090百万円増加の90,029百万円となりました。

負債については、借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べ4,219百万円減少の69,458百万円となりました。

純資産については、平成26年7月8日のA種種類株式の発行に伴う資金の払込、四半期純利益の計上、有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末と比べ7,309百万円増加の20,571百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年11月10日決算発表時に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更したほか、割引率の算定方法も変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が39百万円減少し、利益剰余金が29百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,242	6,077
受取手形及び売掛金	17,533	15,351
商品及び製品	5,623	5,566
仕掛品	4,360	4,698
原材料及び貯蔵品	4,053	3,764
繰延税金資産	1,152	1,150
その他	1,394	1,624
貸倒引当金	△369	△231
流動資産合計	35,990	38,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,815	9,760
機械装置及び運搬具（純額）	4,528	6,268
土地	19,862	19,819
建設仮勘定	1,323	248
その他（純額）	1,287	956
有形固定資産合計	36,817	37,052
無形固定資産	323	326
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423	9,823
退職給付に係る資産	138	120
繰延税金資産	2,823	2,249
その他	4,156	4,032
貸倒引当金	△1,752	△1,584
投資その他の資産合計	13,788	14,640
固定資産合計	50,929	52,020
繰延資産	19	6
資産合計	86,938	90,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,300	12,746
短期借入金	12,714	13,767
未払費用	3,974	4,046
賞与引当金	810	422
その他	4,228	3,965
流動負債合計	35,027	34,948
固定負債		
長期借入金	23,702	20,404
再評価に係る繰延税金負債	5,326	5,326
退職給付に係る負債	6,481	5,815
その他	3,138	2,963
固定負債合計	38,649	34,510
負債合計	73,677	69,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,074	1,000
資本剰余金	8,574	3,781
利益剰余金	△17,406	7,490
自己株式	△3,276	△3,280
株主資本合計	2,965	8,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	600	1,404
土地再評価差額金	10,009	10,004
為替換算調整勘定	△644	△548
退職給付に係る調整累計額	△1,704	△1,334
その他の包括利益累計額合計	8,260	9,526
少数株主持分	2,035	2,053
純資産合計	13,261	20,571
負債純資産合計	86,938	90,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)
売上高	50,248	53,532
売上原価	40,639	43,487
売上総利益	9,608	10,044
販売費及び一般管理費	7,232	7,466
営業利益	2,375	2,578
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	239	118
為替差益	1,163	1,163
貸倒引当金戻入額	202	296
その他	320	427
営業外収益合計	1,949	2,026
営業外費用		
支払利息	654	655
資金調達費用	579	154
その他	246	471
営業外費用合計	1,480	1,281
経常利益	2,844	3,323
特別利益		
投資有価証券売却益	856	260
事業譲渡益	—	147
その他	—	8
特別利益合計	856	417
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	3,698	3,740
法人税等	243	227
少数株主損益調整前四半期純利益	3,455	3,513
少数株主利益	17	17
四半期純利益	3,437	3,495

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,455	3,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	804
為替換算調整勘定	△947	6
退職給付に係る調整額	—	370
持分法適用会社に対する持分相当額	237	90
その他の包括利益合計	△588	1,271
四半期包括利益	2,867	4,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,849	4,767
少数株主に係る四半期包括利益	17	17

(3) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社は、平成26年7月8日にA種種類株式の発行に伴う資金が払い込まれたことに伴い、下記のとおり振り替えております。

1 増加した資本金及び資本準備金の額

資本金の増加額	1,250,000,000円
---------	----------------

資本準備金の増加額	1,250,000,000円
-----------	----------------

2 減少した資本金並びに資本準備金の額及び増加したその他資本剰余金の額

資本金の減少額	15,324,167,611円
---------	-----------------

資本準備金の減少額	6,539,508,899円
-----------	----------------

その他資本剰余金の増加額	21,863,676,510円
--------------	-----------------

3 減少したその他資本剰余金の額及び増加した繰越利益剰余金の額

その他資本剰余金の減少額	21,366,871,798円
--------------	-----------------

繰越利益剰余金の増加額	21,366,871,798円
-------------	-----------------

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,303	12,048	9,578	884	43,814	6,434	50,248	—	50,248
セグメント間の内部 売上高又は振替高	159	188	202	—	551	825	1,377	△1,377	—
計	21,463	12,236	9,781	884	44,365	7,259	51,625	△1,377	50,248
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,351	△394	856	282	2,096	279	2,375	—	2,375

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	20,557	11,261	13,918	864	46,602	6,929	53,532	—	53,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	171	52	242	—	467	825	1,292	△1,292	—
計	20,729	11,314	14,161	864	47,069	7,755	54,824	△1,292	53,532
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,275	593	407	△27	2,249	329	2,578	—	2,578

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。